



記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

調査者
氏 名

年 産	作 物	都道府県	管理番号	作柄表示地帯	作況階層	標本単位区	筆 番 通 号
西 暦	水 稻						
2 0	:	:	1 1 0	:	:	:	:
市町村	旧市町村	農業集落	調査区	経営体	緯 度 度 分	経 度 度 分	標 高 m
:	:	:	:	:	:	:	:

共済引受方式	筆種類	地 方 設 定 コ ー ド								継 続 年 数			
一 筆	半 相 殺	全 相 殺	標 本 筆	基 準 筆	A	B	C	D	E	F	G	H	
①	②	③	①	②	:	:	:	:	:	:	:	:	:

筆の所在地	市町村	大字	小字	地 名	電 話 番 号
耕作者住所	市町村	農家の刈取り予定日 月 日			

1 観察・聞き取り事項

品 種	作 期	普通作区分	栽 植 様 式	は 種 期	田 植 期	出 穂 期									
(品種名)	うるち	早期	普通	一期作	二期作	早生	中生	晩生	機械移植	手植	直まき	月 日	月 日	月 日	
:	①	②	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	⑥	:	:	:

農家の刈取り期	刈取り時の倒伏程度	農家の刈取り方法	刈取り条数	筆の作付面積	刈逃し筆	肥培管理の良否	選別	にしている幅	玄米選別形態
月 日	I II III IV V	コンバイン 手刈	型	a		良 普通 不良	良 普通 不良	幅	
:	① ② ③ ④ ⑤	② ③ ④	:	:	:	① ② ③	:	:	:

(作況基準筆調査のみ)

水 管 理 の 実 施 期 日							
間断かん水	中 干 し	深水管理()回	高温時のかけ流し()回				
開始期日 月 日	終了期日 月 日	開始期日 月 日	終了期日 月 日				
開始期日 月 日	終了期日 月 日	開始期日 月 日	終了期日 月 日				
:	:	:	:				

落 水 期	施 肥 期 日				10a当たり窒素投入量		
	基 肥	追 肥			基 肥	追 肥	
		中間追肥	穂 肥	実 肥		中間追肥	穂 肥
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	(銘柄) kg	(銘柄) kg	(銘柄) kg
:	:	:	:	:	:	:	:

窒素投入量つづき	10 a 当たり有機質肥料投入量				除 草 剤 回 数	散 布 回 数	病 防 害 回 数	土 性		
追肥 つづき								砂 壤 土 (砂質系)	壤 土 (中間)	埴 土 (粘質系)
実 肥	たいきゅう肥	緑 肥	生わら	その他						
(銘柄) kg	(種類) kg	(種類) kg	(種類) kg	(種類) kg				①	②	③
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

(記入注意)

- 倒伏程度は、全倒伏(I)、一部穂が地につく(II)、半倒伏(III)、直立と半倒伏が半々(IV)、倒伏なし(V)に区分し、該当番号を○で囲む。
- 緯度、経度、標高及び土性欄については関連資料に基づき記入すること。
- 10a当たり窒素投入量については、数回に分けて施肥する場合、その合計量を記入すること。

4 2 1 1

2 栽植密度

畝幅・株間測定		畝幅〔11けい間の〕 長 さ	株間〔11株間の〕 長 さ	1 m ² 当たり 株数(けい長)	刈 取 り 株 数
	I	cm	cm	株 (cm)	株
	II			.	
	III			.	
	合計	(1)	(2)		・ ・ ・
	平均	(3) (1)/30	(4) (2)/30		
(5) 1m ² 当たり 株 数		$\frac{10,000}{(3) \times (4)}$	株	1m ² 当たり けい 長	$\frac{10,000}{(3)}$ cm

3 刈取り調査

刈取り日	月 日		露	有	無
------	-----	--	---	---	---

刈取り方法	3m ² 当たり 整数株刈り	①	調製方法	総合選別機 段ぶらい	①
	3m ² 刈り	②		②	

刈 取 り 試 料		全 量	縮分重量	千粒重	粗玄米	重量 g	粒数 粒	2回	2回	合 計	
	未調製生もみ重	・ ・ ・ ・ g		重	重量 g	粒数 粒	粒	g			
	未調製乾燥もみ重	・ ・ ・ ・ g		玄米	重量 g	粒数 粒	粒	g			
	粗玄米重	・ ・ ・ ・ g		重量 g	粒数 粒	粒	g				
	玄米重	・ ・ ・ ・ g	10a当たり換算率 (5)×1,000 刈取り株数計	くず米	重量 g	粒数 粒	粒	g			
	くず米重	・ ・ ・ ・ g		重量 g	粒数 粒	粒	g				
	玄米水分	・ ・ ・ ・ %									

段別重量測定		総 量	2.20以上	2.10	2.00	1.95	1.90
	1 回	g	g	g	g	g	g
	2 回	g	g	g	g	g	g
	合 計	g	g	g	g	g	g

	1.85	1.80	1.75	1.70	1.60	底
	g	g	g	g	g	g
	g	g	g	g	g	g
	g	g	g	g	g	g

調査箇所略図	標本単位区内 水稻作付筆数	生育、登熟の特徴
全けい数 n= けい		
間 隔 $\frac{1}{3}$ n= けい		
ランダム スタート a =第 けい		

(記入注意)

1 合筆の上調製した場合は、合筆調製整理表から千粒重等を転記する。

2 総合選別機により調製した場合のくず米重は1.6mm目以下、粗玄米重は玄米重とくず米重の合計重量とする。

4 草丈・茎数・穂数・もみ数調査

調査所	調査番号 株号	月 日調査		月 日調査						月 日調査						月 日調査	
		草 丈	茎 数	全 (茎)	穂 数	無効 穂数	有 穂	効 数	全も 最高穂	もみ 下・2	全 (茎)	穂 数	無効 穂数	有 穂	効 数	全も 最高穂	もみ 下・2
I	1	cm	本	本	本	本	本	粒	粒	本	本	本	本	本	本	粒	粒
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
II	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
III	1																
	2																
	3																
	4																
	5																
	6																
	7																
	8																
	9																
	10																
	小計																
合 計	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)					
平均 (M)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$	(15)	(16)	(17)	(18) $\frac{(11)+(12)}{20}$							
1㎡当たり (M) × (5) ただし (22) = (18) × (21)	(19)	(20)	(21)	(22)	100粒	(20)	(21)	(22)	100粒								

(記入注意)

- 穂数調査ですじまき(植)の場合は60cm間について調査する。
- 出穂開花期に当たり周辺4箇所調査を行う場合は、ほ場の4辺の中央において第4列目の10株ずつ、合計40株を調査する。ただし、次回に規定の箇所ですじまきについて調査を行う。
- 全もみ数調査は、筆内の穂数調査箇所ごとに3、4、3、計10株について行う。調査株は箇所ごとの平均有効穂数に近い株とし、調査方法は当該株有効穂の最高穂とかん長順位で下位より2番目の穂の全もみ数を調査する。

出穂期後				日調査				(月 日 調査)							
(23) _____ 株の有効穂数の合計				本		(24) _____ 株の生穂重		g		(25) _____ 株の生もみ重		g			
うち上記の100g(又は50g)ずつ	回数	比重選により浮いたもみのうち				比重選により沈んだもみのうち				全もみ数					
		不稔実もみ数		稔実もみ数		不稔実もみ数		稔実もみ数							
	1回	粒		粒		粒		粒		粒					
	2回														
	合計			(イ)		(ロ)		(ハ)		(A)					
	(B) 沈下もみ数 (ロ) + (ハ)						粒						(C) 稔実もみ数 (イ) + (ハ)		粒
(26) 100g調査より _____ 株当たりへの換算率(25)/100	(単位) (0.01)				(31) 生穂重 (24)/(23)		g		(35) 生穂重 (24)*(27)		g				
(27) 株当たりより1㎡当たりへの換算率(21)/(23)	有効4けた		1穂当たり		(32) 全もみ数(28)/(23)		粒・		(36) 生もみ重 (25)*(27)		g				
(株当たり)	(28) 全もみ数 (A) × (26)	粒		(33) 沈下 (29)/(23) もみ数		粒・		(37) 全もみ数 (28)*(27) (100粒)		・ ・ ・					
	(29) 沈下もみ数 (B) × (26)	粒		(34) 稔実 (30)/(23) もみ数		粒・		(38) 沈下もみ数 (29)*(27) (100粒)		・ ・ ・					
	(30) 稔実もみ数 (C) × (26)	粒						(39) 稔実もみ数 (30)*(27) (100粒)		・ ・ ・					
(40) 沈下もみ数歩合 (38) / (37)				%		(41) 稔実歩合 (39) / (37)				%					

6 被害・共済減収調査

被害 状 況	被 害 の 種 類	発 生 時 期	損 傷 項 目	損 傷 程 度	見 取 り 損 害 歩 合	平 年 比 較			
						総 合	多	並	少
						気 象 被 害	多	並	少
						病 害	多	並	少
						虫 害	多	並	少

実測筆の10 a 当たり見積り収量	10 a 当たり筆調製生もみ重kg	同級線（2）	同級線上の10 a 当り収量kg	図表から選んだ点(Y) %	図表から選んだ10 a 当り収量kg	選んだ理由	10 a 当たり筆平均見積り収量kg
				十一		晴天続き・雨天刈り・適期刈り被害の他（中・軽）被そ	

通し番号	標準筆 の 字地番	引受方	半相	10 a 当	10 a 当	10 a 当	10 a 当	見 積 り 被 害 歩 合											
		式 補 ①	方 式 2 割 超 ②	共 済 基 準 ③	平 年 収 量 ④	収 量 ⑤	基 準 収 量 ⑥	被 害 合 計											
調査筆				kg	kg	kg	kg												
(1)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(2)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(3)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(4)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(5)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(6)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		
(7)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:		

入力方向